

当社初の社内起業制度による新会社設立 ～クマ等の害獣・道路損傷検出A Iサービスの提供～

2026年4月28日
北陸電力株式会社

当社は、社内起業制度[※]に基づく初の新会社として「北陸電力Visual AI Solutions株式会社」（略称：北電VISION）を設立することとしましたので、お知らせいたします。

今後、新会社では、画像A I技術を活用し、クマ等の害獣の自動検出A I通報システムである「Bアラート」や道路損傷A I検出システムである「Rチェッカー」等のサービスを提供していきます。

※社内起業制度

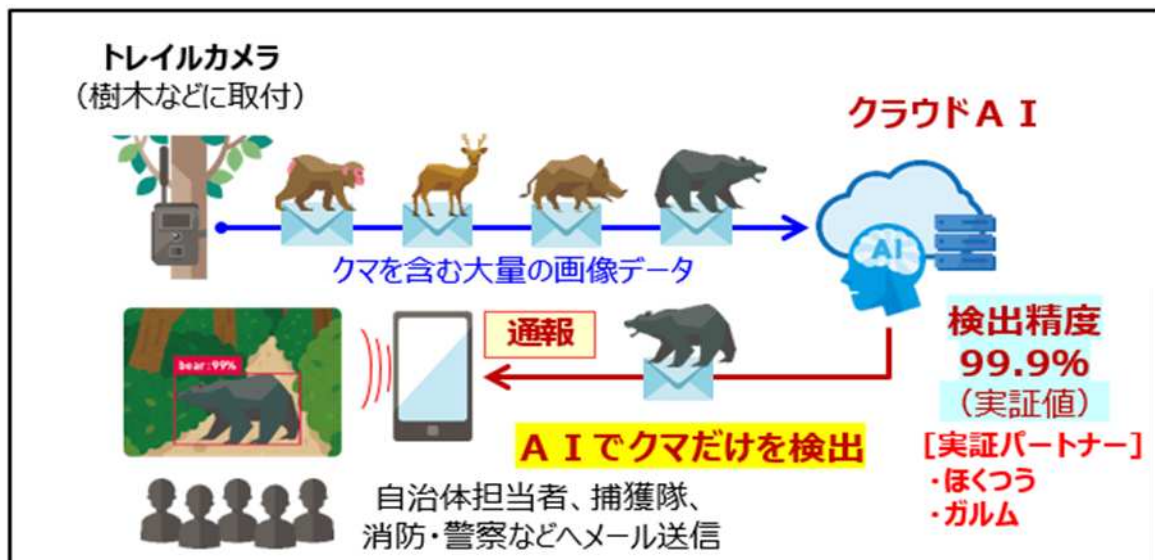
社員から広く新規事業を募集し、提案者自らが社長になり、資本金の3分の1以下の範囲（100万円以上）で自ら出資を行い、新会社の運営を行う制度。

新会社は、画像A I技術を活用した以下のサービスを提供することにより、社会課題の解決に取り組まれている自治体などの方々の業務効率化・高度化やD X推進に貢献してまいります。



Bアラート [害獣の自動検出A I通報システム]

- ・トレイルカメラ等の画像からクマなどの害獣の出没を自動検出し、関係者へ速やかに通報することで、迅速な初動対応を可能とするシステム。クマ等の害獣のみを高精度に検出することで、不要な業務を削減し、初動対応時間の大幅な削減を実現。
- ・2021年に富山県と実証実験を開始以降、石川県、福井市など北陸3県の自治体を中心に導入が広がり、現在、北陸外の自治体も含めて21自治体で導入済。現在、全国で約300台のカメラを設置。導入自治体からは、初動対応の迅速化に繋がると評価いただくなど、全国的に広がる害獣被害の抑止や自治体の現場業務（獣害対策）の効率化・高度化に寄与。





Rチェッカー [道路損傷AI検出システム]

- ・道路パトロールカー等に取り付けたスマートフォンで撮影した道路画像からひび割れ等の道路損傷を自動検出し、道路損傷箇所を地図上に表示するシステム。道路点検業務や道路修繕業務の効率化や高度化を実現。
- ・2025年3月から福井県で実証導入を開始。現在、約20台導入され、福井県からは、道路損傷の把握精度の向上に繋がると評価をいただいている。今後、全国の自治体を対象に導入拡大予定。



本事業は、当社およびパートナー企業がそれぞれの強みを活かし、実証・運用の知見とAI技術・開発力を融合することで実現するものです。特に、現場環境に即したAI精度の向上や、運用を含めたサービス設計に強みを有しており、実用性の高いサービスとして展開してまいります。

当社は、新会社を通じて、地域課題の解決に資する新たなサービスの提供を進めるとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<新会社の概要>

事業内容	画像認識AI等を活用した製品・サービスの提供
本店所在地	富山県富山市（北陸電力株式会社 新価値創造研究所内）
主な出資者（予定）	北陸電力株式会社、株式会社ほくつう、ガルム株式会社、北電技術コンサルタント株式会社 など
代表取締役社長（予定）	事業化提案者
設立予定月	2026年7月

※新会社の詳細は会社設立後に、改めてお知らせいたします

<本事業におけるパートナー企業との役割分担>

北陸電力株式会社	事業統括（企画・運営等）
株式会社ほくつう	システム運用（管理・保守）
ガルム株式会社	AI開発（解析技術の高度化・精度向上）
北電技術コンサルタント株式会社	インフラ知見（道路・設備に関する専門知見）